

【羽生地区】

市民座談会懇談内容（概要）

令和7年11月10日（月）10:00～11:00

懇談テーマ

中心市街地の今後のあり方について

「市民プラザ」「中央公民館」の改修計画について

（市長講話に続き、担当職員より上記懇談テーマについて説明しました。）

（質問）

羽生市公共施設等総合管理計画と羽生市公共施設個別施設計画、それに羽生市立地適正化計画の関連性はどういうものか？

（回答）

羽生市公共施設等総合管理計画（H28～R42）は、全ての公共施設の維持管理が難しい中で、どのように公共施設をマネジメントしていくかを策定するよう国が義務付けたもの、また羽生市公共施設個別施設計画（R3～R12）は、総合管理計画を補完するものとしている。

また、羽生市立地適正化計画（R7～R27）は、羽生駅周辺を含む市内の各拠点での生活に必要な機能を集約するために、まちづくりの基盤を描くための計画である。

（質問）

市民プラザと中央公民館を複合化施設にする計画は以前から伺っていたが、現存の市民プラザの活用が新施設よりも安価ではないのか？

残せるものは残し、中心部にある市民プラザを改修しながら存続していくべきではないか？

（回答）

改修よりも新施設の方が金額として高くなることは認識している。一方で、複合化施設については、国からの補助金を活用できる仕組みもある。どちらが市にとって良いのかは、内部検討中ということもあり、もう少しお時間をいただきたい。

(質問)

改修にせよ新施設にせよ、時間はかかると思う。その間にも市民団体などがそれぞれの活動を出来るように考えていただきたい。

(回答)

どのような方が使用しているかは、今後調査していきたい。

(質問)

以前あった埼玉県遊歩道（羽生駅から三田ヶ谷地区を通り加須駅まで巡るルート）のような、羽生市内を紹介する観光マップはあるが、休憩施設なども各地に作るのはいかがでしょうか？

(回答)

歴史や文化をめぐる観光資源は、市民のみならず観光客にも魅力的かと思うが、構築物を市内に点在させるのは、財政上難しい。現在は、デジタル化が進み、観光コースもスマートフォンで見ることが出来るため、まずは観光コースを訪れてもらえるような市民や観光客を増やしていきたい。今後も史跡の紹介などともに、観光ルートの発信をしていきたいと考えている。